

「世界自然遺産」特別デザイン機就航について

2019年8月31日
 第19033号

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社 那覇市、社長 青木紀将)及び、琉球エア・コンピューター(RAC、本社 那覇市、社長 金城清典)は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録に向けた啓発活動を行っております。

この度、沖縄県が実施する世界自然遺産普及啓発事業の一環として、沖縄県内推薦地域(国頭村・大宜味村・東村・竹富町)の小・中学生を対象に図画コンクールが開催され、最優秀賞作品のデザインを公共交通機関等へラッピングすることになり、JTA機、RAC機も「世界自然遺産号」特別デザイン機を就航する運びになりました。

「世界自然遺産号」特別デザイン機は、本日関係者による除幕式を執り行った後、下記のとおり運航を開始する予定です。

◆「世界自然遺産号」特別デザイン機について

就航期間:2019年8月31日~2020年2月(予定)

【JTA】機材 737-800型機 1機(座席数 165席、機体番号 JA11RK)

初就航便(予定)※注:2019年8月31日(土)JTA571便(那覇発 17:00、宮古着 17:50)

【RAC】機材 DHC-8-Q400CC型機 1機(座席数 50席、機体番号 JA83RC)

初就航便(予定)※注:2019年9月1日(日)RAC817便(那覇発 13:55、与論着 14:40)

※注:機材変更などにより、就航日・便を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

JTA 機体左側デカール



JTA 機体右側デカール



JTA 機体イメージ



RAC デカール



RAC 機体イメージ

